

津島の夏の 風物詩天王祭

天王祭は天王川を舞台にした船祭です。日本三大船祭の一つの**国指定重要無形文化財**です。天王祭の歴史は 500 年ほど前から行われていました。毎年 7 月の第 4 日曜日に開催されます。

煌びやかな巻藁船

巻藁船は、夜 10 時頃からまきわら船が出され天王川に浮かびます。まきわら船に飾り付けられ提灯の数は 1 年の日数を意味する 365 個の提灯が飾り付けてあるとされています。全体で約 500 個余り付けています。優雅に川に浮かぶ姿はとても幻想的で魅了させられます。

迫力ある車楽

車楽船は、巻藁船からがらりと姿を変え、能人形や小袖などが飾られた屋台に変わります。そこから布鉾を持った鉾持と呼ばれる 10 人の締め込み姿の男達が次々に池に飛び込み、布鉾を持って岸まで泳ぎ、津島神社まで駆けていく様は力強く見所です。

華やかな朝祭

朝 8~11 時頃に稚児や神輿が津島神社に向かう朝祭も華やかで見応えがあります。こちらも夜の巻藁船にはない華やかさがあり、多くの参拝者が歩く姿は、とても見応えがあります。

伝統ある津島天王祭へ一度お越しに
なってみてはいかがでしょう？